

災害復興と福島の ソーシャルワーカー

～「自分たちの痛み」の共有から始まった10年～

原発事故が発生した福島のソーシャルワーカーの話は、あまり耳にすることがありません。

沿岸地域に暮らす人々が、内陸部の県北(けんぼく)地域に強制避難となったあの日、前例のない災害ソーシャルワークの始まりが告げられました。それから10年、福島のソーシャルワーカーはこれまで何に直面し、どう対応してきたのでしょうか。

このシンポジウムでは、震災発生当時から活動の中心的な役割を担い続けている県北地域のソーシャルワーカーにご登壇いただき、当時の被災状況と影響の変化、支援活動の実際、そして今後も続く広域避難とソーシャルワーカーの役割など、長期的な視点に立った支援の道筋について、具体例を交えながらお話しいただきます。「うまくいったことばかりではないけれど、針路の見えぬ中、私たちがどうもがいてきたか」と言われるこれまでのふり返りは、withコロナの生活再建とソーシャルワークのあり方を描く手がかりとなるはずです。

2021年

11月13日(土)

13:00～16:00

参加
対象

教育・心理・福祉関係者、
学生・大学院生および一般

参加方法、申し込み期間については、臨床教育学研究科HPをご確認ください。

<http://rinkyoh.mukogawa-u.ac.jp/>



講師・シンポジスト

福島県北方部・社会福祉士3名

松崎 暁世氏(福島県社会福祉士会県北方部元方部長、福島医療生活協同組合)

菅野 直樹氏(福島県精神保健福祉士会県北・相双方部元方部長、福島赤十字病院)

森 美樹氏(福島県介護支援専門員協会理事・伊達市保原地域包括支援センター)

シンポジウムコーディネーター 中尾 賀要子氏(武庫川女子大学教育研究所 准教授)

【特別動画配信】2011年実践回想録：福島でのデブリーフィング 中尾 賀要子

プログラム

13:00 ▶ 開会挨拶

13:10 ▶ 松崎暁世氏・菅野直樹氏・森美樹氏による基調講演
全体討論

15:30 ▶ 参加者からの質問・感想・意見など

15:50 ▶ 謝辞、閉会挨拶

主催

武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科
武庫川女子大学教育研究所

後援

兵庫県教育委員会・西宮市教育委員会
尼崎市教育委員会・神戸市教育委員会

お問い合わせ

武庫川女子大学教育研究所 シンポジウム担当

電話：0798-45-9913(月・水・金 13:00～17:00)

MAIL：rinkyo@mukogawa-u.ac.jp

参加無料
オンライン開催

臨床教育学研究科(男女共学)の入試説明会を実施します



シンポジウム終了後16時より、本学大学院臨床教育学研究科(修士課程・博士後期課程)の入試説明会を対面とオンラインで開催します。

ご希望の方は、11/6(土)迄に氏名・連絡先メールアドレス・電話番号・対面とオンラインのどちらを希望されるかを記載の上、MAIL:rinkyo@mukogawa-u.ac.jpにお申し込みください。こちらからご連絡させていただきます。

修士課程

主として社会人を対象とした男女共学の夜間制大学院です。現職教員・対人援助職を対象に特別選抜を実施しています。また、専修免許状の取得(一種免許からの上級申請)が可能です。

博士後期課程

男女共学の昼夜開講制です。臨床教育学(夜間)・教育学(昼間)・臨床心理学(昼間)の分野があります。

会場

武庫川女子大学

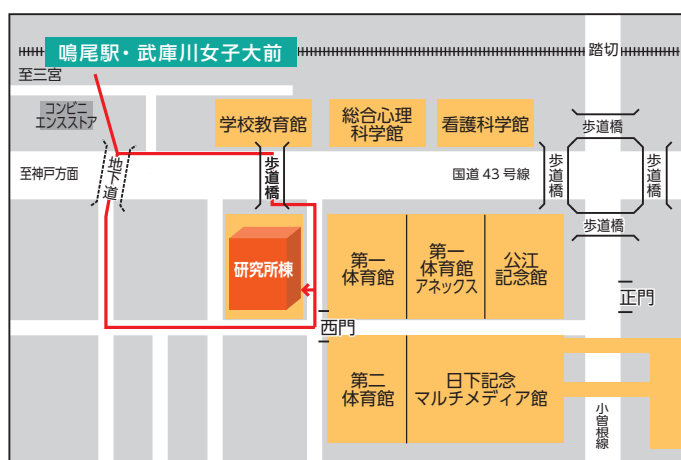
中央キャンパス

研究所棟3F

〒663-8558 西宮市池開町6-46

阪神電鉄 鳴尾・武庫川女子大前駅より
徒歩7分

※駐車場および駐輪場はございません。
公共交通機関でのご来場をお願いします。



2021年度 第2回

オープンキャンパス

会場

武庫川女子大学
中央キャンパス 研究所棟3F

2021年

11月21日(日)

[12:30~16:30]

詳細については臨床教育学研究科ホームページをご覧ください。

<http://rinkyoh.mukogawa-u.ac.jp/>